

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	㈱インターンサービス茨木北営業所新2	階数	地上4F
建設地	大阪府茨木市東福井四丁目	構造	S造
用途地域	市街化調整区域、法22条区域	平均居住人員	0人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,304時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年3月 予定	評価の実施日	2020年8月18日
敷地面積	26,412㎡	作成者	(株)ハンシン建設
建築面積	4,708㎡	確認日	2020年9月1日
延床面積	17,393㎡	確認者	尾城 啓二



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.7

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.3

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

音環境: N.A. 温熱環境: N.A. 光・視環境: N.A. 空気質環境: N.A.

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

機能性: 2.8 耐用性: 4.0 対応性: 4.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.5

生物環境: 1.0 まちなみ: 2.0 地域性・地域環境: 1.5

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 0.0

建物外皮の: N.A. 自然エネ: N.A. 設備システ: N.A. 効率的: N.A.

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

水資源: 3.0 非再生材料の: 2.8 汚染物質: 4.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

地球温暖化: N.A. 地域環境: 2.9 周辺環境: 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
建物の熱負荷の抑制を図るため、下記仕様とした。 屋根: 二重葺断熱折板 外壁: 耐火化粧鋼板サンドイッチパネル		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
・倉庫用途(居室なし)	・空間有効利用のため、階高を高く取り壁長さ比率を下げ積載荷重にゆとりを持たせた	
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・照明器具を全てLEDとした。	・躯体、仕上を分別しやすい構造とした。 ・発泡断熱材を使用せず汚染物質含有材料の使用量を抑えた。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R2-0067

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】		建物名称	株式会社インターロジサービス茨木北営業所新2～4号倉庫新築工事					
		建設地	茨木市東福井四丁目					
		用途/区分	工場					
【評価結果】		CASBEE 総合評価	★ ★ ☆ ☆ ☆			B-1		
①	CO2削減	★ ★ ★ ★ ★			評価対象外			
②	みどり・ヒート アイランド対策	★ ★ ☆ ☆ ☆			2			
③	建物の断熱性	★ ★ ☆ ☆ ☆			評価対象外			
④	エネルギー削減	★ ★ ☆ ☆ ☆			評価対象外			
⑤	自然エネルギー直接利用				—			
		再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
			太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
エネルギー消費量の報告						報告しない		
【評価項目】								
項目		評価内容			スコア	評価		
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				-		
② みどり・ヒートアイランド対策						2		
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価			1.0			
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価			2.0			
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価			2.0			
③ 建物外皮の熱負荷抑制		CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				-		
④ 設備システムの高効率化		CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				-		
⑤ 自然エネルギー利用		CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				—		
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。			報告する 報告しない	報告しない		
その他								
		技術の名称			考慮事項			
先進的技術の導入								
特に配慮した事項								